

# Truth

[トゥルース]

富山のスポーツの  
真実を伝える

2017 秋号

アスポとやま

¥0 Takefree

富山初のスポーツマガジン

VOL.11



## 何を目標して 戦うのか？

スポーツくら

0000 BIG

スポーツ振興くじ助成事業

ほおぼる  
幸せ。



ほおぼる幸せ。

# 富山米



# Truth

【トゥルース】  
VOL.11 富山のスポーツの真実を伝える  
秋号

ホームページもご覧ください!!

SATORU FUKUSHIMA

HARUKA YOKOSHIMA

MASA KITAMIYA  
MASUMI HANADA

TOYAMASPORTS  
THREE TEAM

TOYAMA  
SPORTS  
MESSAGE BOARD

## SPECIAL FEATURES

- 02 全国高校総体・陸上競技男子200優勝  
富山商高・福島聖  
「考えて走る意識」を持つ
  - 04 ハンドボール  
アランマーレ・横嶋遥  
「負けたくない」という新人主将
  - 06 NOAH・マサ北宮インタビュー  
「富山での大会は、力が入る」
  - 07 特別寄稿・花田真寿美さん  
ワースドゲームズに行ってきました!
  - 富山のプロチーム3球団のリアル情報
  - 08 野球  
富山GRNサンダーバース  
クラブチーム出身の和田康士朗が語る
  - 10 サッカー  
カタレ富山  
J3終盤 昇格ヘラストスパート
  - 12 バasketボール  
富山グラウジーズ  
富山で5年目のサムが大切にしている言葉とは?
  - 14 富山のスポーツ伝言板  
登坂が高岡で練習会/栗山がスキー技術選で総合V
- ※皆様からの耳寄り情報お待ちしております!

FAMIMA CAFÉ  
ESPRESSO

# NEW BLEND

ファミマ ニュー ブレンド

Beans Selection

コロンビア 芳醇な甘みと深いコク	タンザニア 豊かな香りと優しい酸味	ブラジル 豊かで深いコク	グアテマラ 華やかな香り

NEW BLEND

ブレンド (ホットコーヒー)

S | 93円 (税込100円)

M | 139円 (税込150円)

L | 167円 (税込180円)



香り、芳醇。  
コク、深く。

県内のファミリーマートで「Truth」を配布いただいています!

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、山内武道具店、カフェ ジャックラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、(有)栄寿し、居酒屋酔虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアーサロンみずほ、いなみ木彫りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘娘餃子、ステーキ すず屋、高岡ワイン倶楽部、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine、遊さん、万里摩理(マリーマリー)、Trattria La Luce、浅川接骨院、寿司正、榊カフェ、おき接骨院、村上接骨院、ヤマヒデホーム、らんぐる、スポーツ&コンディショニングセンター POSS. (順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいています。NPO法人Tスポとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

弾けるアイデア  
固まる信頼

ゆるみ止め加工されたネジ、ボルトは  
こんなところにも使われています

NISSEI TECHNICA  
株式会社 ニッセイテクニカ  
www.nissei-tc.com

富山発のスポーツメディア

# Truth

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営  
TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com  
ホームページ:http://tspotoyama.com/ Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

2017年の全国高校総体、陸上競技男子200メートルを自己ベストとなる21秒04で制した福島聖選手（富山商高）に話を聞いた。チームは「トップランナーになれた理由」と「これからの目標」だ。走っては考え、また、走る……。試行錯誤を繰り返してたどり着いた「高校日本」という頂点は、ゴールではなくスタートだ。次は何を目指して走るのか？

富山商高・福島聖

## 「考えて走る意識」を持つ

全国高校総体・陸上競技男子200優勝

短距離走はだれでも経験したことがあり、シンプルだけに、奥が深いように感じます。どのような経緯で陸上競技に打ち込んでいくようになったのですか？

「野球、サッカー、水泳と幼いころからいろいろなスポーツを経験しました。足が速いことは球技をやる場合でも大きな武器なのですが、得点につながるプレーが常に行えるかというところはなかった。周りには上手な選手がたくさんいました。」

中学時代に全国大会で上位入賞し、高校で全国の頂点に。順調に成長していったようにお見



全員が自己新を出し続ける中、福島も成長してきた

富山商高・林雅則監督

福島選手の指導に当たる富山商高の林雅則監督は、三段跳びで1984年のロサンゼルス五輪を目指したものの及ばず、指導者として選手育成に励んできました。88年のバルセロナ五輪・男子400メートルで決勝に進んだ高野進さん（現東海大陸上競技部監督）とは東海大の同期生。教え子の中から、高野さんのような選手が現れることを願っています。この夏、「高校日本」となった福島選手へのメッセージをうかがいました。

富山商高に入ってから成長を振り返ると、最初からきれいな動きができていました。しかし、ダイナミックさには欠けていた。成長した今はレース前半から地面を確実にとらえるいい走りが出ています。

陸上競技の本質は「自分の力をどう引き出すか」。他者の真似をしてもダメ。自分の中にオリジナリティーを見つけ、理にかなった動きをすること。走・跳・投の力が高まります。富山商高陸上競技部は

「TEAM HAYASHI」「闘争心」という二つのホームページを開設し、情報を共有しています。前者は大会の記録や写真、過去の選手の新聞記事などを紹介し、外部に対して部員の活動をアピールする機会にもなっています。後者は主に技術解説や部員への連絡事項など。かなり専門的な内容を含んでいます。福島に限らず、部員は全員が自己ベストを更新し続けてきました。福島は2年半かけて「自分で考えて走る力」を付けました。高校では100メートルをメインに鍛え、200メートルで結果を出しました。これからは200メートルをメインとし、400メートルなどにも挑戦しながら、力を抜くことも覚えて選手生命が長持ちするよう、うまさを備えてほしい。今後の高校生活では十分な休息も取って大学進学に備え、いい形で送り出したいと思います。

受けします。高校3年間、どのような意識を持って練習に取り組んできたのでしょうか？

- ① 課題を見つける
- ② 課題を修正する
- ③ 修正する過程で失ったものを知り、新たな課題に取り組み
- ④ ①〜③を繰り返す

「課題は人に言われて初めて気づくもの。1人で強くなるのは不可能です。課題を克服するにはどんな練習があるかを先生に教えてもらい、そのメニューを確実にこなす……そんな毎日です。」

1年生の時はほとんど悩みませんでしたが、2年生の時にスランプになってしまいました。動画をチェックし、体調を考えるようになり、他者や以前の自分と比較するようになりました。「出されたメニューをするだけ」から「考えて走る意識」を持てるようになりました」

自分が陸上競技に取り組んできた道のりを、理路整然と語る事ができるのですね。指導者やライバルとの出会いも、成長するために大きな要素だったと思います。いかがでしょうか？

「県立高校の推薦入試直前に富山商へ志望校を変更しました。」

今、どこにいても世界の有力選手



はやし・まさのり 1962年1月23日生まれ、砺波市出身。砺波工高から東海大を経て実業団のMOA商事（静岡）へ。三段跳びを専門とし、ロサンゼルス五輪出場を目指したが及ばず退社、富山県の高校教諭となる。97年4月に富山商高へ着任、陸上競技部監督として指導に当たる。83年に北陸地域選手権でマークした富山県記録の16m36は、いまだに破られていない。

（構成・写真・若林朋子）

# SATORU FUKUSHIMA

ふくしま・さとる 2000年1月19日生まれ、富山市出身。堀川小、堀川中卒、現在は富山商高国際経済科3年。14年の全中で200メートル8位、ジュニア五輪は同種目で2位に入る。15年紀の国わかやま国体は少年男子B100メートル4位。17年全国高校総体は200メートル優勝、100メートル3位。えひめ国体は少年男子A100メートル3位。169センチ、64キロ。



姉、かおる

伝えようとしてくれることは、言葉がなくても、なんとなくわかる。でも、キャプテンだからチームのことは、自分が先に気づかなきゃって、

誰よりも体を張って、倒れ込んでもすぐに立ち上がり、力強く走る。目で、呼吸で、その存在が相手を圧倒する。同じユニフォームでいてくれることが、勇気をくれる。

一度引退した姉と、この先何年ともに戦えるかわからないけど、ひとつでも多く、吸収して、かおるに近づきたい。そして、生まれた故郷のこのチームを魅力あるチームにしたい。

## 15年ぶりの再会 受け継がれた財産

### 立山アルミの休部

9月10日、射水市のアルビス小杉総合体育センターで行われたアランマーレのホーム開幕戦、相手の広島メイプルレッズの金明恵監督（愛称ケイさん）と私は、久しぶりの再会だった。「ケイさん、ご無沙汰しています」と声をかけると彼女は、笑顔で握手してくれた。

15年前、富山には日本リーグに参戦していた実業団チームがあった。立山アルミ。2000年とやま国体にむけて1994年3月に発足、ケイさんは発足時からヘッドコーチに就任し、ゼロからチームをつくりあげた。私は、その過程を発足前から取材、ホーム戦を毎年実況中継するなど、どのメディアよりその戦いぶりを熱く伝えた。しかし、地元国体を終え、2002年、立山アルミ（のちに三協アルミと経営統合）は経営環境の悪化を理由にハンドボール部の休部を決定、当時、この事実を私は、スクープとして真っ先に報じた。立山アルミの部長から「報じるのを一日待ってくれ」と頼まれていたにもかかわらず……。

実は、アランマーレのGMの飯山進さんも、元立山アルミのコーチ。ケイさんは立山アルミが休部したあと日本リーグのトヨタ紡織のコーチをへて、広島に。広島の大前典子コーチも元立山の選手だ。

立山によって育てられた人材が、富山のハンドボール史に新たな

歴史を刻もうとしていた。試合は、広島が前半からアランマーレを圧倒、リーグ初参戦のチームに対し、ケイさんは、最後まで手を緩めることはなかった。私には、あえて、戦いの厳しさを教えているようにみえた。

### 「一緒に写真を撮りましょうよ」

試合終了後1人の女性が私に声をかけてきた。「松井さん、一緒に写真を撮りましょうよ」。どこか見覚えがある顔だと思ったら、元立山の選手だった。行ってみると、今は母親になった懐かしい顔が大勢いた。みんな応援にきていたのだ。休部以来、関係が途切れていたあの部長の姿もあった。私が「どうも」と声をかけると、部長は「おう」と返してくれた。私の心のなかで、ずっとひっかかっていたものがようやく取れた瞬間だった。そして、ケイさんと大前さんも駆けつけ記念撮影。富山のハンドボールを応援する心は、財産となってずっと受け継がれていた。

（文 松井 克仁）



# そんな理由で負けたくない。

## 横嶋 遥

よこしま はるか 文・写真 金森 正晃

ハンドボールのアランマーレは日本リーグデビューから険しい船出だった。しかし、主将は焦らない。勝つだけじゃない魅力のあるチーム、新人・主将横嶋遥の話をきいた。

### 新人主将

日本リーグ開幕から6試合勝ち無し。7試合目の飛騨高山ブランクブルズ岐阜戦で勝利したものの連携など課題は残る。

勝ち負けも大事なところだが、それより先に、選手たちのバラバラな意識を整えることが最優先。意識のズレは、プレートのズレ。そこから勝利につながるはず。設立して間もないアランマーレは、若手主体であり、新人選手を多く抱える。

自分も新人である中、主将に任命された。高岡向陵高校、大阪体育大学など強豪校を渡り歩いて二番大切と感じたこと。おもいやるところ。仲間を思い、相手に対して敬意を持つこと。チームプレーが疎かと言われる中、新人の主将は、

敬意をあらうことを重要視している。挨拶や、思いやりの言葉は、バラバラなチームを本筋の通ったチームに変えてくれるはずと信じている。

### そんな理由で負けたくない。

日本リーグが始まって、課題は山積。納得のいくゲームはできていない。小柄な選手が多く、外から打たされる展開が多い。特にセットオフエンスからはスピードを生かした速攻が機能していない。さらに自由のきかない攻撃のパターンは絞らされてしまう。今シーズンの良くない形は、こうやって生まれている。

「小さい選手が多いから……」そんな理由で負けたくない。チームの攻撃をしっかりと形にしたい。ディフェンスから粘り強く守り、

相手に絞らさずに速攻をかける。これが目指す形。

私は、足が速いわけでもないし、シュートスピードも速いわけじゃない。自分の持ち味である粘り強い守備から体を張って攻撃の起点となるパスを送りたい。フロウターの望月選手との連携もまだまだだけど、チームの強みのパス回しの早さで形を作りたい。

### 誇りをむねに

先のことは、わからない。でも、今やらなきゃいけないことはわかっている。このチームの初代主将として、チームの魅力を最大限引き出す。試合を観に来てくれるお客さんにもハンドボールの楽しさを伝えたい。富山で育ててもらったから、ハンドボールが好きだから。誇りをむねに。



よこしま・はるか 富山市出身。ハンドボール一家に育ち、高岡向陵高等学校、大阪体育大学を卒業後、アランマーレに入部。初代主将。アランマーレの横嶋かおる、北國銀行の横嶋彩は姉。



聞き手・文 土田 由香里  
写真 NOAH提供

幼いころから「プロレス」に憧れていた少年が今、その舞台上で活躍している。NOAH(ノア)に所属する砺波市出身の「マサ北宮」だ。7月には高岡エクールで「富山凱旋大会」が行われた。地元出身の選手とあって、北宮を幼いころから知るファンが詰め掛けた。

# 「富山での大会は、力が入る」

プロレス・NOAH / マサ北宮インタビュー



まさ・きたみや 本名は北宮光洋。1988年10月27日生まれ、砺波市出身。高岡商高、桃山学院大、健介オフィスを経て2014年からNOAHの所属に。172センチ、103キロ。

CS放送で観ていたプロレスの世界。佐々木健介選手に憧れていた。高岡商高ではレスリング部に所属していた。「プロレスのベースになるスポーツ」という思いで選んだそう。桃山学院大でも主将を務めるなど活躍し、卒業後、佐々木氏の「健介オフィス」に入門した。

「365日プロレス漬けの毎日」だった。上下関係も寮生活もすべて厳しかったが、好きで飛び込んだ世界である。練習生の期間を乗り越え、2011年9月25日にデビューを飾る。会場は、故郷・富山。「ただがむしゃらにやっただけで覚えていない」そう。その後、14年4月からNOAH所属となる。

2016年11月から「ゲン担ぎ」で伸ばし始めた「髭」は今ではトレードマークだ。伸び放題のように見えるがしつかりシャープしているそう。「いつか髭を剃る時がくるのか?」と聞くと、今のところ予定はないとのこと。「髭はマサ北宮」。すぐに覚えられるだろう。

最近のプロレス会場は、子どもたちの姿が見られるようになった。プロレスに憧れる子どもたちに北宮は「大きなけがをする危険性もあり、覚悟は必要」とした上で、「途にプロレスが好きだったら、なれる」と話す。自身がそうだったように。

「ただ好きなことをやっているだけ」と謙遜するが、「レスラーである以上、タイトルのベルトを獲りたい」「たくさんのお客様が入るように盛り上げたい」「プロレスそのものが、これからもどんどん発展してほしい」など、いくつもの思いを胸に、リングに立ち続けている。

「地元・富山での大会は、いつも以上に力が入る」。身長172センチと決して大きくはないが、全身で、全力で挑む姿は勇気を与えてくれる。次の凱旋が楽しみだ。



スポーツ庁長官の鈴木大地さん(右)と筆者

「ワールドゲームズ」。聞き慣れない方も多くありません。ワールドゲームズとは、五輪に採用されていない種目の国際総合競技大会のことであり、「第二のオリンピック」とも呼ばれています。私が小学3年生のころから習っていたバドミントンは、今こそ、当たり前のように五輪競技になっていますが、以前はワールドゲームズで開催されていたのです。

国際ワールドゲームズ協会 (IWGA: International World Games Association) が主催し、国際オリンピック委員会 (IOC) の後援でIOC4年に一度、夏季五輪・パラリンピック競技大会の翌年に開催されます。今回で第10回を迎えたワールドゲームズは、7月20日から同30日までポーランド共和国ワロツアフ市で開催されました。

111の国・地域から3251選手が参加し、日本からは18競技98名の選手が出場しました。私は、選手たちの試合時・表彰式時・メディア対応時に「アスリートビューティーサポート」としてメイクをさせてもらいました。今回、日本チームの半数以上の競技連盟から依頼があり、連盟の方や選手と直接連絡を取り合い、タイムスケジュールを作り、それぞれの会場を回りました。

メダルを取った選手たちの眩しい笑顔、嬉し涙、試合に負けてしまい、悔しさからメイク中に涙を流す選手。全力で勝負する彼ら、

# アスリートをメイクでサポート

ワールドゲームズに行ってきました!

文・写真 アスリートビューティーアドバイザー 花田真寿美(富山市出身)



相撲の競技会場風景



ポーランドの街並み



広場で遊ぶ子どもら



選手のメイクをする筆者

彼女たちはとても美しかったです。高岡市出身で相撲男子重量級に兄弟で出場した黒川宗一郎・宏次朗両選手は、3位決定戦で対戦し、兄の宗一郎選手が制し、銅メダルを獲得しました。会場内は、音楽や照明でライブ会場のようになっています。高かったです。

私は、このワールドゲームズで、初めて見る競技が多くありました。例えば、ライフェービング、フライングディスク、柔術、ビリヤード、スカッシュなど。多種多様な面白さに魅了されました。結果、日本は、金9、銀6、銅7の計22個のメダルを獲得しました。自国の国歌を歌えることや、すれ違う人々から「JAPAN!」「Congratulations!」と声

をかけてもらえる嬉しさと、街中の一体感、忘れることができません。「2020年、楽しみだね!」「応援しているよ!」という言葉も沢山かけていただきました。あらためて五輪が日本で開催されることについて考える機会にもなりました。その時には、さらにアスリートビューティーを広め、選手たちへのサポート体制を整えたいと思っています。

今回、初めて足を運んだポーランド。街中は薄い黄色やピンクのレンガで造られた建物があり、とても可愛らしく、花も至る所に飾られたり植えられたりしていました。広場ではシヤボン玉や噴水で遊ぶ子どもたちが沢山いて、温かい印象を受け、私にとって何度でも行きたい場所になりました。

そして、富山とのつながりといえば、ポーランドのレスリング協会と高岡市が、東京五輪の事前合宿を同市で行うなどについて覚書を取り交わし、同市が2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」登録されました。高岡市とポーランドとの交流が深まることに楽しみであり、双方の良さを伝えられる橋渡しができたら嬉しいですね。

Masumi Hanada

・日本ワールドゲームズ協会ホームページ  
[http://www.jwga.jp/about\\_wg/index.html](http://www.jwga.jp/about_wg/index.html)

# クラブチームから独立リーグへ挑戦

富山GRNサンダーバーズ 和田康士朗外野手

高校時代は地元埼玉のクラブチームに所属し、卒業と同時に富山GRNサンダーバーズに入団した和田康士朗外野手。入団1年目の18歳だ。異色の経歴を経て独立リーグに挑戦し、富山で白球を追う和田が今、大きく羽ばたこうとしている。

## ●高校でクラブチームを選択

高校時代に所属していたのは、埼玉のクラブチーム「都畿川倶楽部硬式野球団」だった。全国の高校球児は毎年、甲子園球場で行われる全国大会の頂点を目指して練習に励んでいる。したがって、独立リーグのトライアウトをパスするレベルで、高校野球の地方予選に出場経験がない選手はまれだ。

では、なぜ和田はクラブチームで野球をやっていたのか？ 中学を卒業した時、野球をやめていたからだ。「高校で野球はやらない」と決めていた。そのため、家の近くの高校に進学した。そこは試合に出場するにはギリギリの部員しかない無名校だった。

しかし、野球への思いが再燃した。きっかけは1年生の夏の県大会。地元のテレビ中継を見ていた際に、友人がベンチ入りしている姿を目にしたのだ。頑張っている姿を見て「もう一度野球がしたい」と思った。そこでクラブチームに加入した。BCリーグのトライアウトに挑戦した。

## ●監督の目に映った逸材

高校3年間、土・日曜は社会人選手に交じって、クラブチームでプレーする生活を送った。チームメイトに武蔵ヒートベアーズへ入団した選手がいたことから、「自分も実力を試してみたい」とBCリーグのトライアウトに挑戦した。



KOSHIRO WADA

聞き手・文 土田 由香里  
写真 富山GRNサンダーバーズ

わだ・こうしろう 1999年1月14日生まれ、埼玉県出身。背番号7、外野手。184センチ、68キロ。都畿川倶楽部硬式野球団から富山GRNサンダーバーズ(2017~)。

## ●1年目からの活躍

富山で初めて独り暮らしを経験している。野球中心の生活は体力面で大変だが、和田は「上達できる楽しみがある」と考えている。吉岡監督は体力についての不安を抱いていたが、今季は68試合に出場した。

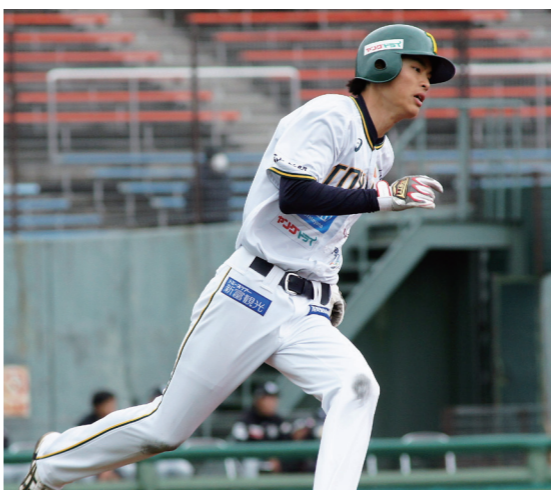
吉岡監督にとっては「予想外にタフだった」とのこと。打率は2割7分1厘。71安打(1本塁打を含む)、14盗塁を記録した。盗塁については、失敗を恐れて監督のサインが出てから走るが多かったが、前期優勝をきっかけに、失敗を恐れず仕掛けることができるようになってきた。「1試合1本の割合で安打。昨年打てなかった本塁打も出た」。目標の数字を達成できた。変化球への対応が少しずつできるようになり、三振が減り四球が増えたことが成長だと感じている。また、打席では恐れずフルスイングしてきた。そんな和田もシーズン終盤、吉岡監督から怒

鳴られたことがある。打撃の調子が落ち、ノーヒットが何試合か続いた時だ。吉岡監督は「打てないことに対してではなく、その時にどうにかしようという気持ちが見えなかった」と指摘する。

叱られた後に話した監督との時間では、あらためて野球に対する姿勢を考え、気付きを与えてもらった。「もっと頑張らなければ、上(NPB)にはいけない」と実感した。

## ●タオルの売れ行き好調

応援グッズの中で一番、売れ行きがいいのは、和田のタオルである。和田は「家族がたくさん買ってくれた」と謙遜するが、ファンの間でも注目度が高かったことがうかがえる。家族はもちろん、小学校の時のチームメイトも応援に来てくれた。また弟が兄の姿を励みに野球を頑張っている。



## 和田康士朗選手のサイン色紙 2名様にプレゼント!

富山GRNサンダーバーズ和田康士朗選手のサイン色紙を抽選で2名にプレゼントします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、Truthに対するご意見・感想を明記の上ご応募ください。締め切りは、12月末。応募先は下記の通り。



E-mail: nisennen@tspotoyama.com  
(個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします)  
なお、発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

2017年のシーズンは、信濃グランセローズの初優勝で幕を閉じた。富山は西地区で前期優勝したものの、地区CSで信濃に敗れた。吉岡監督に今シーズンの戦いぶりについて振り返ってもらった。

「攻撃力は外国人選手の力によってアップしたように思いますが、どうでしょう?」

「打線は、ベゲロを西地区1番にしてから、打線に厚みが出た。3番に河田、4番にはジョニーを置くことで、相手チームに与えるプレッシャーが増した。ベゲロもメジャー時代の経験から、1番の方が入りやすかったようだ。この結果、BCリーグの安打記録を115に塗り替えた」

「投手で目についた点を挙げてください。」

「投手陣は外国人の役割分担がはつきりしていたことで、先発陣の負担を軽減させることができた。コラレスの楽天入りと前期優勝したことで後期は、吉田ら若手がチャンスを得られた。な

# パワーと技を見せることができた

吉岡監督に聞く



なかなか出られない状況が続いた時にも落ち込まず取り組む姿勢があり、精神的に強くなったと思う。今後も投手・野手ともに自分からチャンスをつかみに行ってもらいたい」

「地区CSで信濃に敗れ、優勝に手が届かなかったことは、悔しかったのではないだろうか?」  
「地区CSは打線がキーポイントだと考えていた。相手の投手陣が良かったので1点でも多く取りたいと思っていた。勝利への気持ちは強かったが、空回りしてしまったように感じる」

「ファンの皆さんへメッセージをお願いします。」  
「優勝を皆さんにお届けできなかったことはとても残念に思う。シーズンを通しては、パワーと技を見せることができたし、野球の面白さを感じてもらえたのではないかと思う。これからチームがどう進化するか見て、応援してもらいたい。1年間ありがとうございました」

MODEL HOUSE  
NEW OPEN!!  
職人とつくる木の家

見学をご希望の方はご連絡ください



YAMAHIDE

(株) 山秀木材 ヤマヒテホーム  
詳細はHPをご覧ください!  
www.yamahidehome.co.jp



第25節・栃木戦でCKから佐々木陽次がヘディングシュートを決める。苦しい時期を乗り越えてチーム状態が上がってきた

# 最後まで 駆け抜ける

文 赤壁 逸朗

J3は大詰めを迎え12月3日に最終節が行われる。上位を迫るカタールレ富山は逆転でのJ2昇格を目指しラストスパートに入った。

©2008KATALLER

カタールレ富山は10月15日の第27節・藤枝戦を4-2で快勝して4位をキープし、3位・秋田と勝点で並び2位・秋田との差も勝点1に縮めた。残り試合で昇格できる2位以内への浮上を目指す。

今季は開幕3連勝と好スタートを切り、第15節にも3連勝を飾って前半戦を2位で折り返した。しかし、夏のリーグ中断期間が明けて最初の第19節・FC東京U-23戦（8月19日）でつまずいた。後半32分に先制点を挙げて勝利が目前だったが、終了間際の約3分間で2点を失って逆転負け。それまでの戦いで守りの堅さに自信を深めていただけに予期せぬ展開での敗戦だった。

### ■ 試練の5戦勝ちなし

次節の鹿児島戦でも2失点して1-2で敗れ今季初めて2連敗。「先制点を許した後に『すぐに取り返してやる』という気持ちが強過ぎて少し前掛かりになった。前節のFC東京U-23戦であのような負け方をしたことも影響したのかもしれない」（浮気哲郎監督）。次の第21節は下位ながら調子を上げていたYS横浜に苦しめられて1-1の引き分け。第22節も元日本代表のDF茂庭照幸らがオーバーエイジ枠で出場したC大阪U-23の守りを崩せず0-0。第23節は上位の沼津に前半で2点を許し、攻めも精彩を欠いて2試合連続の無得点に終わった。

今季最長の5戦勝ちなし（2分3敗）となり5位まで後退。警告の累積による出場停止や、負傷による主力選手の離脱が重なったのも痛かった。シーズンは長く、組織にもひとりの人間のように調子には浮き沈みがある。チームは生き物という表現があるからだ。歯車が少しずつずれてチーム状態が低下し、選手たちも「みんなの動きが硬い」「以前はもっとうまくできていたはずなのに」と首をかしげた。浮気監督は復調へのきっかけを守りに求めた。選手も応えて全員がハードワークし、第24節の北九州戦で相手の猛攻をしのぎ6試合ぶりに勝利を手にし

た。第25節は首位の栃木に敗れたが、第26節の福島戦でも粘り強く守って勝点3を加算した。

### ■ 勢い再び4発快勝

そして迎えたのが第27節の藤枝戦。エースのFW若口卓也、第22節からスタメン復帰して上り調子のMF佐々木陽次が2点ずつ決めて今季最多の4ゴールを挙げた。後半戦に入って初の2連勝で、今季初の逆転勝ちでもあった。前半戦でみせたような、相手陣からボールを奪いにいき素早く攻めるアグレッシブさが戻り、浮気監督が「久しぶりというか、初めてというくらいに相手のゴールにどんどん向かっていくカタールらしいサッカーを見せることができた」と話す。苦しい時期を乗り越え、上げ潮ムードで最終盤に突入する。

2014年に創設されたJ3は毎年、チームが成熟する終盤に最も強さを発揮したクラブが昇格を果たしている。昨年は大分が5連勝で逆転優勝を飾り、15年はラスト9試合負けなし（7勝2分）だった2位の町田が入れ替え戦でも勝

利を取めた。14年は優勝した金沢が13戦負けなし（12勝1分）で終えた。シーズンを通して鍛錬を積み、最後に最も力をつけたチームが昇格するのは当然であり、ふさわしい。今季のJ3は上位が小差で競り合い、昇格争いは最終節までもつれる可能性が高い。カタールレは12月3日の沖繩で笑えるか。これからが本場の勝負だ。



©KATALLER TOYAMA

### ◇ J3順位表 (第27節終了・10月15日時点)

順位	開催日	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	栃木	52	15	7	3	38	19	19
2	沼津	47	13	8	4	55	24	31
3	秋田	46	13	7	5	41	23	18
4	富山	46	13	7	6	33	20	13
5	鹿児島	45	14	3	8	37	26	11
6	長野	42	11	9	6	27	17	10

※差:得失点差



©KATALLER TOYAMA

## カタールレ案内板

### ■ 最終盤はホームで3連戦

ラスト4試合のうち3試合をホームで戦う。第32節の長野戦は昇格を狙うクラブ同士の隣県対決であり長野からも多くのサポーターが来場してスタジアムは熱気につつまれるだろう。ホーム最終戦になる第33節・鳥取戦の後にはセレモニーも予定されている。

〈問い合わせ〉カタールレ富山 電話076-461-5200

### ■ 最終節までの試合日程

30節	11月5日(日)	13:00	vs 秋田(H)
31節	11月11日(土)・12日(日)	—	試合なし
32節	11月19日(日)	13:00	vs 長野(H)
33節	11月26日(日)	13:00	vs 鳥取(H)
34節	12月3日(日)	13:00	vs 琉球(A)

※時間は開始時刻。Hはホーム、Aはアウェイゲーム。ホームの試合会場は富山県総合運動公園陸上競技場

## オリジナルデザイン Tシャツ承ります!

**1枚からプリントOK!!**

小ロットから大量注文まで幅広い数に対応します

**ウェアの持ち込みOK!**

持ち込みのウェアへのプリントにも対応します

**写真や手書きのデザインOK!**

簡単な下書きイメージでも当社でデザインいたします

**応援横断幕作成承ります!**

試合など様々なシーンで使える横断幕作りませんか?

さまざまなグッズにプリントできます!!

Tシャツ  ポロシャツ  ウィンドブレーカー

ブルゾン  ベンチコート  エプロン

トートバッグ  タオル  帽子

のぼり  はっぴ  その他

部活やサークルで

お祭り・イベント

お祝い・ノベルティ

担当者  
が直接お伺い  
します!

マックスプリント

検索

**株式会社マックス**

〒932-0821 富山県小矢部市鷺島18番地  
電話受付時間: 平日9:00~17:30

**TEL 0766-67-5070**

FAX 0766-67-5072

✉ print@matsutani-g.co.jp

横浜との残留プレーオフ2回戦を79-71で制してB1残留を決めてから4カ月余りのオフは、あっという間に過ぎた。9月30日、富山グラウジーズのBリーグ2年目が開幕した。新しいシーズンが始まるころになると、初めてバスケットボールの試合を観戦したときのことを思い出す。

グ所属が決まったので注目度は高かった。開幕戦こそ勝利したものの、2戦目から泥沼の14連敗を喫するなど、本意なシーズンスタートとは否めない。観客動員数はチーム史上最高だったが、運営はどちらかというと地味な印象を受け、bjリーグ時代とあまり変わらなかったように思う。

## 開幕戦、ライフエンス・コールは「鳥肌もの」

企業名も増え、華やかで特別な空間に演出されていた。何より嬉しかったのは、ユニフォームに胸スポンサーがついたことだ。これは2008-09シーズン以来9年ぶり、これほど「プロの試合」を感じさせるものはない。親しいプレイヤーと再会を喜び、「開幕が待ち遠しかった」という思いを共有した。



さかのうえ・みつる 1970年、高岡市生まれ。メーカーのサラリーマンを経て99年に税理士となる。家族そろって富山グラウジーズのブースターになり、ちょうど10年目。T.Sポトやまのメンバー。

試合は北海道を相手に苦戦を強いられ、終始北海道ペース。一時は16点差をつけられるなど、追いつけそうで追いつけない我慢の展開だったが、残り1分半から富山のライフエンスが機能し、最後の最後で83-78と逆転、勝利を収めた。3302人の観客が一体とな

## God disguised as Michael Jordan

(バスケットボールの神様・M.J.)

バスケットボールを始めたのは、3、4歳の時。アメリカンフットボールやサッカー、ゴルフにも親しんできた。高校時代以降はバスケットボールとゴルフ。身長が高かったので、バスケットボールが一番自分に向いていると思いつてきた。ゴルフの腕前は「そこそこ」。自分にとってのスターは、多くの選手がそうだろうが、NBAで活躍したマイケル・ジョーダンとシャック(シャキール・オニール)だった。



## very very very .....Thank you

(本当にありがとう)

富山グラウジーズのブースターの皆さん、いつも、そして長い間、サポートしてくださって本当にありがとう。富山での1年目は、夏の暑さと、冬の寒さに驚いたけれど、今では生活にすっかりなじんだ。大都会と違い、コンパクトな街の雰囲気は、故郷と似ている気がする。新鮮な魚はおいしく、寿司もよく食べている。



富山グラウジーズにとってBリーグ2年目のシーズンが始まった。サム・ウィラードにとっては、bjリーグ時代から通算して5年目のシーズンとなる。チーム内の信頼も厚く、冷静で堅実なプレーは若いプレーヤーの手本となっている。北海道との開幕2連戦を終えた時点で、今季の意気込みやプレーヤーとしての歩みなどについて聞いた。

# 高いところを目指し、努力と行動

サム・ウィラード



構成・写真 若林 朋子  
通訳 岡本 育(富山グラウジーズ)

## Second straight win (2連勝)

例えば9月30日、10月1日にホームで行われた北海道との開幕2連戦は、初戦が追いかける展開で逆転勝ち、第2戦はリードしていたにもかかわらず、最後に逆転を許してしまった。2試合がまるで違う内容となった。2連勝することは難しいものだが、優勝するようなチームは必ず勝ちを重ねている。今季の富山もそうありたい。必要なのは安定したチームディフェンスだ。



Sam Willard(サム・ウィラード)1988年9月7日生まれ、米国・オハイオ州出身。パシフィック大卒。2011-12シーズンはラトビア・プロリーグのベンツビルス所属。12-13シーズンはbjリーグ・仙台89ERSと契約、50試合に出場。13-14シーズンは富山グラウジーズと契約し、チーム初の3位に貢献。14-15シーズンも富山で全52試合に出場し、リバウンドでリーグ2位。15-16シーズンも富山で活躍、1月の月間MVPを受賞。205センチ、102キロ。



## 富山グラウジーズ 11・12・1月のホームゲーム

月	日	時	対戦相手	会場
11月	4日	18:05	新潟	県総合
	5日	13:05	新潟	県総合
	18日	18:05	川崎	富山市総合
	19日	13:05	川崎	富山市総合
12月	2日	18:05	滋賀	富山市総合
	3日	13:05	滋賀	富山市総合
	16日	18:05	横浜	富山市総合
	17日	13:05	横浜	富山市総合
	20日	19:05	名古屋	富山市総合
1月	20日	18:05	島根	富山市総合
	21日	13:05	島根	富山市総合

(試合時間は変更になることもあります。詳細は富山グラウジーズ公式ウェブサイト確認ください)

## effort and attitude (努力と行動)

私は毎年新たな課題と向き合い、それを克服するために「ハードワーク」をモットーとしてプレーしてきた。バスケットボール選手としての信条は、「努力」と「行動・態度」。子どもが生まれたことを含め、家族の存在はモチベーションではあるが、何よりも自分がずっと「高いところを目指していく」という気持ちを持ち、努力を重ね、そこに向かって行動していくことが大切だと思っている。

## サム選手のサイン色紙をプレゼント



富山グラウジーズ・サム選手のサイン色紙を抽選で2名にプレゼントします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、Truthに対するご意見・感想を明記の上ご応募ください。締め切りは、12月末。応募先は次の通り。  
nisenmen@tspotoyama.com  
個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします。発表は現物の発送をもって代えさせていただきます。



黒部「愛」銀盤「愛」を込めて 「誇り」と「自信」をもって動き出そう!

# Love! Move!

銀盤酒造は富山のスポーツを応援しています

銀盤酒造店長 亀田興毅

銀盤酒造社員 KUROBEアソシエーツ 所属選手 馬場ゆりか

銀盤酒造株式会社 富山県黒部市荻生4853-3 www.ginban.co.jp



# スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！  
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

## 登坂が高岡で練習会 五輪V2への意気込み

リオデジャネイロ五輪のレスリング女子48キロ級で金メダルを獲得した登坂絵莉選手（東新住建、高岡市出身）を招いた強化練習会は9月9日、高岡市竹平記念体育館で開かれ、県内の小・中・高校生選手ら約110人が「五輪連覇」を目標に掲げる登坂選手の心・技・体の強さを間近に感じ取った。開会式では宇多慎司県レスリング会長、高橋正樹高岡市長があいさつ、登坂選手は「緊張とどう向き合えばいいか？」、「今一番のライバルは？」、「どうしたら五輪に出られるか？」などの質問に答えた。練習では片足タックルなどを披露し、積極的にスパリングパートナーを務めた。

練習後、登坂選手は「レスリングでもほかのことも、1位を目指して頑張ることが大切」と激励した。今年1月に左足親指の付け根を手術し、調整を続けてきたが「五輪連覇を目指し、ぶれずに頑張りたい」と故郷で決意を示した。

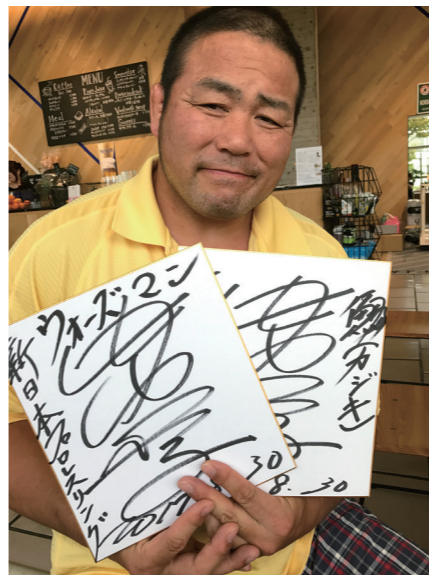


## 新日本プロレス 1月に富山大会 ルチャの祭典、初開催

新日本プロレスの「NJPW PRESENTS CMLL FANTASTICA MANIA 2018」は1月17日、リニューアルした富山テクノホールで開催される。ルチャの祭典は、滅多に見られない、メキシコからCMLLのスーパースターが多数来日しての大会となる。新日本から出場する選手はオカダカズチカ、棚橋弘至、内藤哲也豪華な顔ぶれだ。新日本プロレスの中西選手に意気込みを聞いた。

富山のプロレスファンの印象は「熱く、真剣に観てくれる。おとなしい面もあるが、自分たちはプロ。どう盛り上げていくか腕の見せどころ」と話した。個人的な選手が揃う新日本プロレスは、「身振り、手振り、背振り、全身で表現する」といわれ、まさに個性のぶつかり合い。1月の大会に向けては、「お祭りの要素もある。ルチャの選手たちの関節技を中心にしたグラウンドテクニクから跳んだり跳ねたりする華やかな部分もある。感じるプロレスを楽しんでほしい」と期待を寄せた。

インタビューを行ったのは、富山県総合体育館内の「TOYAMA TOWN T REKKING SITE」であり、中西選手は「いつかこのような大きな会場でも試合がしたい」と意欲をのぞかせた。取材協力はTOYAMA TOWN TR EKKING SITE。



## 富山市出身の栗山が 2017年全国日本スキー技術選で 女子総合優勝



3歳からはじめたスキーは趣味と話す栗山未来さん。牛岳ジュニアレーシングチーム、雄山高校時代はアルペン競技の選手。ただ、インターハイや国体に出場しても入賞からは圏外の無名選手だった。高校卒業後、スキーから離れることも考えたが、縁があつて新潟のガール湯沢のスキースクールに就職。そこで基礎スキーに出会った。選手になるには3年は続けないといけないと言われ、基礎スキーの奥の深さに、はまっていったという。

2014年の技術選で女子総合6位に。この年、SAJナショナルデモンストレーターに初めて認定された。去年、スキー板のメーカーが変わり、気持ちが変わった。チームのなかでもやりたいことができるようになり、精神的に余裕ができたことが、優勝という結果につながったと話す。今は、技術選で2連覇することが目標という。

2020年に富山でのスキー国体の開催が決まっている。栗山さんのスキースクールの指導者としてのモットーは、「ラクに楽しく」。「基礎スキーはスキーを始める入り口なので、富山の子どもたちへのスキー普及には、力になりたい」と話した。

くりやま・みく(旧姓 清水) 1985年11月9日生まれ、31歳。富山市出身。SAJナショナルデモンストレーターで夫もデモ選手。ガール湯沢スキースクール所属。

## 射水で柔道・講道館指導者講習会

公益法人「講道館」と富山県柔道連盟が主催する「講道館講習会」は9月18日、射水市の新湊アイシン軽金属スポーツセンター武道館で開かれ、県内の指導者約100人が少年柔道や基本・練習中の安全、実技指導に理解を深めた。

講師は、リオデジャネイロ五輪の男子90キロ級で金メダルを獲得したヘイカー茉秋選手（JRA）の恩師である講道館道場指導部課長の向井幹博さんが務めた。向井さんは「難しいことをやさしく、やさしいことを面白く」と指導のポリシーを披露し、受け身の教え方などを紹介した。修了者の代表者には修了証が贈られた。



## スポーツの秋に レクリエーション体験会

富山県生涯スポーツ協議会が主催する「楽しいスポーツ・レクリエーション体験会」は9月2日、トランポリンを皮切りに始まり、同9日はスポーツ吹き矢と居合道、10月14日はノルディックウオーキング、同28日はキンボールスポーツと各競技で参加者がさわやかな汗を流した。

スポーツ吹き矢は高齢者が腹式呼吸で矢を的に向かって吹くことにより、集中力と呼吸法を学んだ。居合道は滑川高校と呉羽高校の剣道部員と一般の参加者が木刀を使って基本動作を習得した。



スポーツ吹き矢



居合道

県内のスポーツ情報をお待ちしております

富山発のスポーツメディア

# Truth

Find us on Facebook

https://www.facebook.com/spotoyama

アスポとやま

「Truth」冬号掲載ニュースの締め切りは2017年12月末  
.....  
原稿・写真・画像は左記メールアドレスまで、よろしく願います。  
なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます、ゲラチェックはありません。  
・Tスポとやまメール  
nisenen@spotoyama.com

## 中西選手のサイン色紙プレゼント

ご希望の方はメールで、住所、氏名、電話番号を明記の上、Tスポとやま事務局まで。締め切りは、12月末。個人情報、商品の発送にのみ使用し、先着2人に現物を発送の予定。  
nisenen@spotoyama.com

## NJPW PRESENTS CMLL FANTASTICA MANIA 2018

日時 2018年1月17日、午後6時半  
会場 富山テクノホール東館  
問い合わせ きときとレンジャー事務局  
http://kitokitoranger.com

## Tスポとやま 2017年度賛助会員の皆様(同年10月20日現在)

### 【法人会員】

小笠原製作所、荒井学園、東亜電工、富山機械工業センター、クラブJoy、山崎機工、富山技販、ユニゾーン、内山精工、日伸精機、津根精機、澤田製作所、岡崎工機、伸栄商会、パレススポーツクラブ、ライブリッジ、高岡スポーツユナイテッド、北陸機材、KANAYA、五省会西能病院、ヤマヒデホーム、JUMP MARUYAMA、北陸パロン美装、前川歯科クリニック、まちづくりとやま、藤田内科クリニック、ホテルよし原、潤観光開発、常願寺川公園スポーツクラブ、バイエルンスポーツ、ジャストドゥイット、カターレ富山をサポートする会、すき焼はやし、富山ベースボールクラブ、高岡金網、MIYAHARA GYM、千山道場、富山県総合警備保障、銀盤酒造 (順不同)

### 【個人会員】

尾畑達彦、尾畑美奈、sanwaytoway、新田八朗、鶴殿裕、山形英明、江川正光、塚田三四治、河崎克彦、竹田克史、田村勉、田村恵子、北井誠、松下和磨、西田真、登坂修、野沢紀子、牧内直哉、木内岳夫、高岡茂樹、大辻保、横嶋好子、小竹秀忠、福井良、成田光雄、中田憲昭、松島公裕、小沼憲子、西野由香、小山孝義、南雲公子、面谷太志、伊東与二、谷崎文保、大家芳夫、大鋸谷孝志、嶋田利隆、松本裕典、笹木忠、若林良、高森勇、田中一郎、清田義之、澤田利浩、東軒一虎、松本壽夫、加藤進也、南部政樹、夏野義一、吉田義夫、河合常晴、Fight絢恵!、沼田秀樹、土肥正秀、末吉正道、北川悠介、幸塚孝行、大谷由里子、黒田明、成瀬昌朗 (敬称略、順不同)

### 【編集後記】

・春のセンバツで新湊がベスト4に進出し新湊旋風を騒がれた活躍を甲子園球場で見たことを私は今も鮮明に覚えている。あれから31年、今や伝説となったチームを率いていた檜物さんが、11月から高岡向陵高校の監督として高校野球界に復帰した。65歳、悩んだ末に最後の恩返しと思い引き受けたという。かつて、高岡商業の伊東、富山商業の武内、新湊の檜物が見せた野球は、勝負に対していやらしさがあつた。集大成として檜物さんがどんな野球をみせるのか。しっかりと見届けたい(松井)

・高朋高校野球部監督の森崎直樹さんが8月30日に53歳で急逝されました。葬儀には多くの野球関係者が参列し、夏の県大会で準優勝した3年生が棺をかつぎ見送ったそうです。2012年の夏の甲子園に出場した富山工の指導を通じて打撃力養成に手ごたえをつかみ、「打てるチームをつくるのが、富山県全体のレベルアップにもつながる」と意欲を示しておられました。試合後、応援に足を運んだOBや一般生徒と穏やかに話していた姿が印象に残っています(赤壁)

・最近、女子ハンドボール・アランマーレのお仕事させていただいてるんですが、真新しいプレステージの社屋におじゃました。ここは富山じゃない!! 日本でもない!! なんだかアメリカンな社屋に感動しましたとさ!!(金森)

・インタビューをして感じる共通点は、「好きなこと」への素直な姿勢。それが強さでもある。自分にもあるはずのその気持ちを、表現することが大切だとあらためて感じる秋になった(土田)

・この夏、子どもと甲子園に行ってきました。取材で訪れていた時とは全く違う感情を抱きながら、夢を膨らませてきました(中沖)

・「Truth」の読者の皆様、いつもご愛読いただきありがとうございます。書き手は選手・監督・ファン・保護者……いろんな目線から執筆しております。したがって文章のトーンはバラバラですが、ご容赦を。私の思いは「小・中・高校生選手にトップ選手のノウハウを届ける」ということ。とりわけ練習への取り組みを詳細に書いています。「Truth」が未来のアスリートの大いなる飛躍につながることを願っています(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com

HP : <http://tspotoyama.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/tspo.truth>

顧問: 田中一郎

STAFF: 赤壁逸朗/金森正晃/久留健太郎/小林永/坂野上満/土田由香里/中沖紘一/永森茂/松井克仁  
若林朋子

DESIGN: TIME PLANNING JAPAN 株式会社

誰もが世界一になれるわけでもない  
誰もが日本代表になれるわけでもない  
それでも人はスポーツをする  
昨日の自分に追い越されないために  
明日の自分を追い越すために  
スポーツに鍛えられた人生は  
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

# スポーツくじ



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

**Truth** 冬号は2018年1月下旬発行予定